

平成21年11月期 第2四半期決算短信

平成21年6月30日

上場取引所 東大

上場会社名 大阪有機化学工業株式会社
 コード番号 4187 URL <http://www.ooc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年7月14日

(氏名) 鎮目 泰昌
 (氏名) 永松 茂治
 配当支払開始予定日

TEL 06-6264-5071
 平成21年8月24日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年11月期第2四半期の連結業績(平成20年12月1日～平成21年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年11月期第2四半期	7,305	—	△261	—	△236	—	△1,247	—
20年11月期第2四半期	13,135	9.8	996	5.4	1,015	4.2	606	△2.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年11月期第2四半期	△61.05	—
20年11月期第2四半期	28.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年11月期第2四半期	23,946	—	17,870	—	74.0	—	866.68	
20年11月期	26,573	—	18,995	—	70.8	—	920.25	

(参考) 自己資本 21年11月期第2四半期 17,708百万円 20年11月期 18,803百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年11月期	—	8.00	—	4.00	12.00
21年11月期	—	2.00	—	—	—
21年11月期(予想)	—	—	—	4.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年11月期の連結業績予想(平成20年12月1日～平成21年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,584	△28.3	44	△96.0	55	△95.3	△1,008	—	△49.35

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年11月期第2四半期	21,787,038株	20年11月期	21,787,038株
② 期末自己株式数	21年11月期第2四半期	1,354,180株	20年11月期	1,354,170株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年11月期第2四半期	20,432,859株	20年11月期第2四半期	21,195,545株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の金融危機に端を発した世界的な景気の悪化により、企業収益が大幅に減少し、設備投資の減退や雇用情勢の悪化等の影響を受けて、景気が非常に厳しい状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境も、自動車や電子材料を始めとする各産業界における市場環境は厳しさを増し、在庫調整圧力の高まり等により、生産・販売において大幅に悪化いたしました。

このような情勢の下で、当社グループにおきましては、選択と集中による持続的な成長力の構築を基本軸に、新製品開発のための技術力の強化や生産コスト削減等に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は73億5百万円、営業損失は2億6千1百万円、経常損失は2億3千6百万円、大阪工場の一部の固定資産についての減損損失6億3千8百万円等により四半期純損失は12億4千7百万円となりました。

事業の部門別の業績は次のとおりであります。

①エステル化製品部門

エステル化製品部門におきましては、自動車特殊塗料向けや情報関連分野向け等のアクリル酸エステルが前年同期比64.9%、建築材料向けや粘接着剤向け等のメタクリル酸エステルは、前年同期比49.7%と大幅な減少となりました。

この結果、部門全体の売上高は36億1千1百万円となりました。

②有機合成品部門

有機合成品部門におきましては、粘接着剤向け等で前年同期比60.0%となりました。この結果、部門全体の売上高は3億3千7百万円となりました。

③特殊化学品部門

特殊化学品部門におきましては、化粧品ポリマーグループでは前年同期比104.5%と堅調に推移しましたが、医薬中間体グループは前年同期比86.9%にとどまりました。液晶材料や半導体材料を中心とする電子材料グループは前年同期比50.5%、繊維用撥材等のその他ファイングループも前年同期比28.1%と大幅に減少いたしました。

この結果、部門全体の売上高は33億1千3百万円となりました。

④その他部門

その他の部門では、試薬等で売上高は4千1百万円となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて26億2千7百万円減少し、239億4千6百万円となりました。これは、主に製品の減少及び受取手形及び売掛金の減少によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて15億2百万円減少し、60億7千5百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の減少及び未払金の減少によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて11億2千4百万円減少し、178億7千万円となりました。これは、主に利益剰余金の減少によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、13億1千万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億3千6百万円の増加となりました。これは、主にたな卸資産の減少、売上債権の減少、仕入債務の減少及び税金等調整前四半期純損失などによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、11億1千8百万円の減少となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億4千4百万円の増加となりました。これは、主に短期借入金の増加によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、景気に改善のきざしが見られるものの、個人消費や雇用情勢は依然として厳しい状況の中で推移するものと予想されます。当社グループを取り巻く事業環境につきましても、電子材料分野等で底入れの兆候は現れておりますが、順調な回復は見込めない状況と予想しております。

このようなことから、平成21年1月13日に公表しました業績予想を修正いたしました。詳細は、平成21年6月19日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

連結財務諸表提出会社及び連結子会社は、平成20年度の法人税法改正を契機として耐用年数の見直しを行い、第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数を変更しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の売上総利益は2百万円増加し、営業損失及び経常損失は10百万円減少し、税金等調整前四半期純損失は20百万円減少しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,376,420	1,984,408
受取手形及び売掛金	4,793,388	5,760,271
製品	1,659,164	2,663,139
仕掛品	720,065	938,788
原材料及び貯蔵品	661,850	678,024
繰延税金資産	327,113	154,284
その他	88,012	51,047
貸倒引当金	△19,647	△21,441
流動資産合計	9,606,367	12,208,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,059,128	4,595,239
機械装置及び運搬具(純額)	3,381,860	3,224,938
土地	2,096,113	2,096,113
建設仮勘定	495,126	1,343,581
その他(純額)	199,114	237,712
有形固定資産合計	11,231,343	11,497,585
無形固定資産	2,702	3,064
投資その他の資産		
投資有価証券	2,804,609	2,447,228
保険積立金	227,900	216,271
繰延税金資産	—	112,454
その他	73,248	88,483
投資その他の資産合計	3,105,758	2,864,438
固定資産合計	14,339,803	14,365,087
資産合計	23,946,171	26,573,610

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,181,609	3,500,872
短期借入金	770,454	352,554
1年内償還予定の社債	160,000	160,000
未払金	1,028,186	1,586,461
未払法人税等	19,363	129,118
賞与引当金	—	25,500
役員賞与引当金	—	34,600
その他	201,079	341,622
流動負債合計	4,360,692	6,130,728
固定負債		
社債	700,000	780,000
長期借入金	46,656	56,658
退職給付引当金	136,605	133,095
役員退職慰労引当金	477,501	477,501
固定資産撤去損失引当金	280,000	—
繰延税金負債	73,726	—
固定負債合計	1,714,489	1,447,255
負債合計	6,075,182	7,577,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,318,344	3,318,344
資本剰余金	3,295,397	3,295,397
利益剰余金	11,354,396	12,688,781
自己株式	△547,641	△547,638
株主資本合計	17,420,495	18,754,885
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	288,286	48,393
評価・換算差額等合計	288,286	48,393
少数株主持分	162,206	192,348
純資産合計	17,870,989	18,995,627
負債純資産合計	23,946,171	26,573,610

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年5月31日)
売上高	7,305,511
売上原価	6,353,524
売上総利益	951,987
販売費及び一般管理費	
運搬費	142,627
役員報酬	97,239
給料及び手当	211,409
研究開発費	382,467
その他	379,934
販売費及び一般管理費合計	1,213,677
営業損失(△)	△261,690
営業外収益	
受取利息	455
受取配当金	16,437
助成金収入	8,271
その他	15,177
営業外収益合計	40,340
営業外費用	
支払利息	13,765
その他	1,661
営業外費用合計	15,426
経常損失(△)	△236,776
特別利益	
投資有価証券売却益	10,140
受取保険金	50,829
特別利益合計	60,970
特別損失	
減損損失	638,861
固定資産除却損	42,175
投資有価証券評価損	66,422
投資有価証券売却損	5,403
異常操業損失	459,418
特別損失合計	1,212,281
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,388,087
法人税、住民税及び事業税	6,849
法人税等調整額	△119,055
法人税等合計	△112,206
少数株主損失(△)	△28,454
四半期純損失(△)	△1,247,426

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年12月1日
至平成21年5月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,388,087
減価償却費	785,592
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,793
賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,510
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△34,600
受取利息及び受取配当金	△16,892
支払利息	13,765
為替差損益(△は益)	△875
固定資産除却損	42,175
減損損失	638,861
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,737
投資有価証券評価損益(△は益)	66,422
受取保険金	△50,829
売上債権の増減額(△は増加)	966,883
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,238,871
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,319,263
その他	△443,758
小計	469,745
利息及び配当金の受取額	19,328
利息の支払額	△11,702
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△92,157
保険金の受取額	50,829
営業活動によるキャッシュ・フロー	436,043
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△30,000
定期預金の払戻による収入	200,000
有形固定資産の取得による支出	△1,227,348
投資有価証券の取得による支出	△130,263
投資有価証券の売却による収入	81,369
保険積立金の積立による支出	△11,629
その他	△448
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,118,321
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	450,000
長期借入金の返済による支出	△42,102
社債の償還による支出	△80,000
自己株式の取得による支出	△3
配当金の支払額	△82,048
少数株主への配当金の支払額	△1,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	244,395
現金及び現金同等物に係る換算差額	△106
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△437,988
現金及び現金同等物の期首残高	1,748,408
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,310,420

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年12月1日至平成21年5月31日)

当社及び連結子会社は有機化学工業製品の製造、販売を主業とする単一事業につき、開示基準に該当するセグメントがありません。このため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年12月1日至平成21年5月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。このため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年12月1日至平成21年5月31日)

	アジア・豪州	米州	欧州	計
I 海外売上高(千円)	689,981	83,845	22,422	796,248
II 連結売上高(千円)	—	—	—	7,305,511
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	9.4	1.2	0.3	10.9

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・豪州・・・中国、韓国、台湾、タイ、インドネシア、シンガポール等

(2) 米州・・・アメリカ等

(3) 欧州・・・ドイツ、フランス、スペイン、オランダ、スイス、イギリス等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績及び受注実績

当社及び連結子会社は原則として見込生産を行っております。また、生産実績につきましても当社及び連結子会社の製品は多種多様にわたり、同種の製品でも仕様が一樣でなく、通常取引の単位が大幅に異なるものが存在するため、金額及び数量表示は妥当性を欠くので記載を省略しております。

② 販売実績

区 分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年5月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)
エステル化製品	3,611,964	49.4
有機合成品	337,906	4.6
特殊化学品	3,313,660	45.4
そ の 他	41,980	0.6
合 計	7,305,511	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

「参考資料」
前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 中間連結損益計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年12月1日 至 平成20年5月31日)
区分	金額 (千円)
I 売上高	13,135,624
II 売上原価	10,559,888
売上総利益	2,575,736
III 販売費及び一般管理費	1,579,355
営業利益	996,380
IV 営業外収益	32,878
V 営業外費用	13,329
経常利益	1,015,930
VI 特別利益	337
VII 特別損失	13,414
税金等調整前中間純利益	1,002,853
法人税、住民税及び事業税	413,233
法人税等調整額	△19,337
少数株主利益	2,709
中間純利益	606,247

(2) (要約) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年12月1日 至 平成20年5月31日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	1,002,853
減価償却費	847,960
貸倒引当金の増加額	33
賞与引当金の増加額	469
退職給付引当金の減少額	△1,324
役員退職慰労引当金の増加額	29,482
役員賞与引当金の減少額	△6,350
投資有価証券売却益	△337
固定資産除却損	11,234
受取利息及び受取配当金	△10,954
支払利息	10,531
為替差益	△4
売上債権の減少額	135,434
たな卸資産の増加額	△123,016
仕入債務の増加額	42,265
未払費用の増加額	345,436
その他	32,693
小計	2,316,408
利息及び配当金の受取額	13,250
利息の支払額	△10,622
法人税等の支払額	△386,440
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,932,596
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△330,256
有形固定資産の売却による収入	2,500
無形固定資産の取得による支出	△3,050
投資有価証券の取得による支出	△224,647
投資有価証券の売却による収入	104,024
投資有価証券の償還による収入	500,000
積立保険料の積立による支出	△9,263
積立保険料の払い戻しによる収入	53,211
その他	△18,592
投資活動によるキャッシュ・フロー	73,926
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額	23,500
長期借入金の返済による支出	△42,102
社債の償還による支出	△80,000
自己株式の取得による支出	△10
配当金の支払額	△169,505
少数株主への配当金の支払額	△1,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	△269,568
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	4
V 現金及び現金同等物の増加額	1,736,958
VI 現金及び現金同等物の期首残高	693,302
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	2,430,260